

植物多様性センターの「コムラサキの色づき」

コムラサキの実が色づいてきました。ひとつの枝をみてみると、枝元から枝先へ向かって順に、緑色の未熟果が紫色に変化していく様子が観察できます。コムラサキはシソ科の落葉低木で、ムラサキシキブに似て小さいので名付けられました。実は園芸店でムラサキシキブという名で売られているのは、大半がコムラサキです。コムラサキの方が樹高が低く、実が密に付くので園芸には向いているようですね。



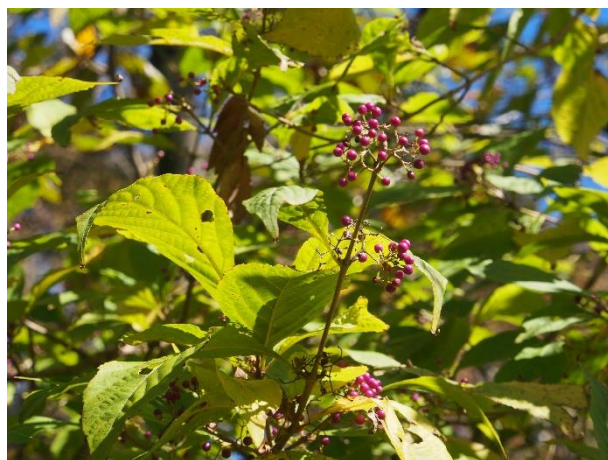
コムラサキ:色づき始めの時期は美しいグラデーションになる。



コムラサキの実:紫色の実をよく目立ち、落葉した後も長く残る。



シロミノコムラサキ:コムラサキの変種で実が白く熟す。



ムラサキシキブ:コムラサキと同属の落葉樹。(2018年11月撮影)